

# ***Mandolin Concert***

***Yamanashi Univ.  
Mandolin Club***

*1970. 10.24*

静岡県民会館



## ※ あいさつ ※

山梨大学マンドリンクラブ部長

秋 山 延 義

皆様、本日はお忙しいところを私たちの演奏会において下さいまして誠にありがとうございます。

私たちのクラブも、創立以来本年で十周年を迎え、いつの日か異郷で演奏会をもつことが、私たちの日頃の夢でありました。晴れて今日、ここ静岡県民会館に於いて念願が叶い演奏会のもてますことはこの上ない喜びでございます。これもひとえに皆様の御支援の賜ものと、部員一同心から感謝致しております。

私たちは、春、夏、秋の合宿、及び学内での練習などを通じ、サークルと小社会の中で浮き彫りにされる自己をみつめ、人間関係の困難さを感じつつも真の音楽追究により、七十余名深き友情で結ばれようと若き情熱を傾けてまいりました。まだまだ人間的にも技術的にも未熟な私たちではございますが、多少なりとも私たちの熱意を御理解頂ければ幸いです。

尚、今後とも山梨大学マンドリンクラブに、あたたかい御支援と厳しい御批判を御願ひ致します。

最後に、私たちのクラブに対し、常日頃から献身的な御指導をして下さる飯島国男先生、比留間きぬ子先生をはじめ諸先生方、及び演奏会開催にあたり多大な御協力を頂きました静岡大学、その他多くの大学、高校の皆様、また各関係会社に対して心から御礼申し上げます。

## 静岡演奏会に寄せて

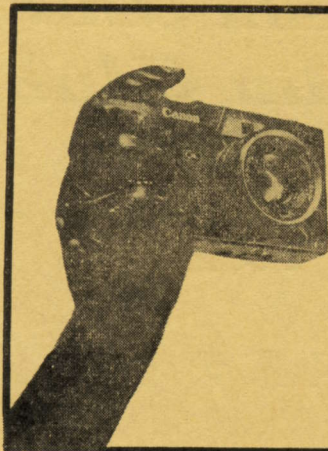
山梨大学マンドリンクラブ顧問

牧 野 洋  
(工学部助教授)

今度、梨大マンドリンクラブは始めて静岡で演奏会を持つことになった。聞くところによれば静岡は日本でも有数のマンドリンの盛んな土地なのだそうである。その静岡で演奏会を開くのだから大変である。恥かしくない演奏をしてもらいたいものだ。静岡のミカンのように一つの袋の中にかっちり固まって入っているというようにはいかないかも知れないが、山梨のぶどうもよく見れば一房につながっている——その程度にはまとまったアンサンブルであってほしいものだ。

演奏会を開くに当って、静岡大学マンドリンクラブを始め各校の関係者の方に非常に御世話になった。紙上を借りて厚く御礼申し上げる。

— 責任あるアフターサービスを誇る —



●キャノンカメラ契約指定店

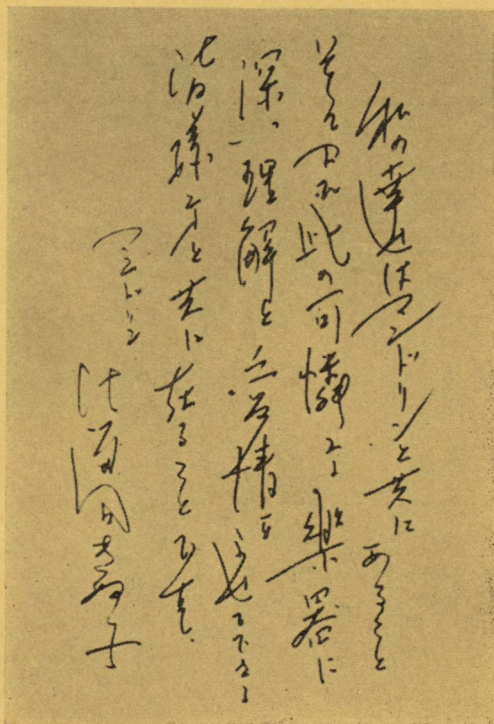
**ガンカメラ**

静岡・呉服町名店街 TEL52-6442

# ❁ 紹 介 ❁

東京比留間マンドリン音楽学院

比留間 きぬ子



## 比留間きぬ子 先生

我が国マンドリン界の最高権威者で、東京に「比留間マンドリン音楽学院」を開いておられ、昭和43年より兵庫県芦屋市にも教室をもたれて関西の人々への指導にもつくされております。先生は山梨大学マンドリンクラブ常任指揮者飯島国男の師にあたり、梨大マンドリンクラブを御指導下さっております。又一方ラジオ、テレビ、映画音楽など非常に多方面で御活躍中です。

## 飯島国男先生

マンドリンを比留間きぬ子、ヴァイオリン及びヴィオラを福井直弘、チェロを中島方、指揮を沖不可止に師事。

昭和23年に飯島マンドリン四重奏団を結成されてより、26年に飯島弦楽四重奏団を結成、30年にNHKオーデションに合格、32年に山梨県全域の音楽団体を統合、横の連結機関として山梨音楽文化連盟を結成され、理事長に就任、又、その他映画音楽やオペラ「手古奈」「鷹の泉」等の編曲並びに指揮を担当されておられます。

比留間マンドリンアンサンブルの客員としてラジオ、テレビ、レコード等に活躍していましたが、現在は山梨県下のプレクトラム音楽普及並びに指導に尽力しておられます。

(日本マンドリン連盟関連支部委員)  
(日本弦楽指導者協会々員)

カウンター・お座敷・季節料理



# 花むら

静岡・摩匠町1の5 電53-0071

# ≡ プログラム ≡

## 第一 部

### クラシック

指揮 石井康裕

序曲 バグダッドの大守.....F. A. Boieldieu

ペルシャの市場にて.....A. W. Ketelbey

アイネ・クライネ・ナハトムジーク..... W. A. Mozart

第一楽章 —— アレグロ

第二楽章 —— ロマンズ

第三楽章 —— メヌエット

第四楽章 —— ロンド

## 第二 部

### マンドリン ソロ (重音式無伴奏)

愛の喜び..... L. Paparello

奏者 川村恭明

### 二重奏

スペイン風綺想曲..... C. Munier

マンドリン 貞弘丈佳

ギター伴奏 安藤恵一

### ギター協奏曲

二調のコンチェルト.....Antonio Vivaldi

第一楽章 —— アレグロ・ジュスト

第二楽章 —— ラールゴ

第三楽章 —— アレグロ

ギター独奏 嶺木直人

## 第三 部

### オリジナル

指揮 飯島国男

ローラ序曲.....H. Lavitrano

夜の印象.....D. DE. Giovanni

メリアの平原にて.....Giuseppe Manento

# 曲目解説

## 【第一部】

### ■ クラシック

#### 序曲バグダットの大守

作曲家ボイエルデューは19世紀の初めフランスで活躍した喜劇作曲家で、豊かなメロディーと軽快さをもった喜歌劇を数多く手がけ、当時人気を集めた。この曲は彼の出世作で今日歌劇そのものは演奏されないが、この序曲はよく取り上げられ広く知られている。ゆるやかな序奏とソナタ形式の軽快な主部とから成っているが、ただこの序曲の施律が劇中から取られたものかどうかは不明である。

#### ペルシャの市場にて

ケテルビーの作品のなかでは、最も広く親しまれている曲で、東洋風の行進のリズムにのって、らくだの群の行列、人ごみのなかの乙食の声、従者をしたがえた女王の行進、手品師や蛇使いの音楽、大守のお通りなど、ごったがえす町のにぎわいを描き、そのあと、乞食、女王の姿をほのめかしてから、行進がしたいに遠のいていき、曲をとじる。

#### アイネ・クライネ・ナハトムジーク

Eine Kleine というのは「小さい」という意味で「小夜曲」とも言われている。この曲は、モーツァルトが歌劇「ドン・ジョヴァンニ」の作曲中にウィーンで書いたもので、1781年8月10日に完成された。彼のセレナーデの中ではこれが最も愛好されており、次の4楽章から成る内容的にもすぐれた作品である。

第一楽章 アレグロ・ソナタ形式でト長調の分散和音から出た動機のユニゾンで始まる。

第二楽章 アンダンテ・ハ長調二分の二拍子ですばらしく美しい施律のロマン調である。

第三楽章 アレグレット・ト長調四分の三拍子のメヌエットで、ある人が、「このメヌエットは世界中で最も小さくて、最も美しいメヌエットだ」といったそうである。

第四楽章 アレグロ・ト長調二分の二拍子で、快速ではちきれそうな躍動を感じさせる。

## 【第二部】

### ■ マンドリンソロ

#### 愛のよろこび

ルイジ・パパレロの作品は米国で出版されているが、彼はイタリア人である。この「愛のよろこび」・「夜の鐘」など彼の作品は一見単純に見えるが、ともすれば技巧に捕われ勝ちな無伴奏形式の独奏曲に単純な形式をあたえ、しかもそれを演奏上に生かすことは決して容易なことではない。この曲にはケレンがないばかりでなく豊かな詩情がある名曲である。

### ■ 二重奏

#### スペイン風綺想曲

マンドリンの父と云われるカルロ・ムニエルは演奏家であり、教師であり、又優れた作曲家であった。1859年イタリーに生まれ、マンドリンの音楽的価値を高揚した第一の功労者である。中でも室内楽と独奏曲は彼の名を不朽ならしめる力を持っている。作品276のこの曲は彼の円熟期に於ける傑作で、極めて自由奔放な手法と南欧的明るさを持つ美しい感情に満ちた旋律は彼の代表的名作と云えよう。

### ■ ギター協奏曲

#### 二調のコンチェルト

作曲者はイタリアのヴェネチア楽派のアントニオ・ヴィバルデイで、彼の作品はイタリアの器楽曲らしく、みごとな情感をもっている。曲は急・緩・急の三楽章からなっている。

第一楽章 アレグロ・ジュスト はなやかな合奏で主題を奏し、ギターの独奏がエピソード風のきらびや

かな楽句であらわれる。この合奏と独奏とが鋭くコントラストされて数回交替して鮮やかな印象を与える。

第二楽章 ラールゴ 静かなマンドリンアンサンブルをバックにギターは甘美なメロディーを爪弾いていく。

第三楽章 アレグロ 再び合奏部の力強いメロディーとギターの独奏の交代によって舞曲調のはなやかな楽想をもちあげつつ、リズムに進行する。

## 【第三部】

### ■ オリジナル

#### 序曲 ローラ姫

本曲は19世紀、ヨーロッパ各都市でその艶名をうたわれた舞姫ローラ・モンティスを讃えて作った曲と伝えられている。全般的に典雅で軽快な感じをもっていて、随所に現われる Allegro の部分における軽快奔放さ、Andante の優愁繊細さは美しい対照をもって現われ、巧みに融合されおり、プレクトラム楽器の特徴が巧みに生かされている。

#### 夜の印象

作曲家、ドメンコ・ド・ジョバンニはイタリアのポローニアの生まれで、作品には「ローマ・トリート」等のマンドリン合奏曲の他に、管弦楽・吹奏楽・オペレッタ声楽曲など広い範囲のものもある。この曲は、夜の印象そのままを幻想曲風に表わしたもので、夜の与える静けさ、寂しさ、美しく可愛らしい星のきらめきを思わせるしっとりとした情趣をもつ曲である。

#### メリアの平原にて

ジュセッペ・マネンテは1867年イタリアのサンニオに音楽家を父として生まれ、王立陸軍軍楽学校卒業後、歩兵第60連隊軍楽隊長を特命した。折りしもイタリアは全土を挙げてマンドリン音楽の興隆時代で彼も多大の関心を寄せ、吹奏楽の外にマンドリン曲を多数書いた。中でもこの曲は1909年、イル・プレットロ誌主催の作曲コンクールに受賞、一等名誉賞状を受け翌年出版をみるや、たちまちこの界の至宝の作品となったもので、プレクトラム楽器を大胆に取扱った点に彼の非凡なる手腕を見ることが出来る。特に第二主題における第一マンドリンの旋律と第二マンドリン、マンドラ、チェロ、ギター等の交互に現れる和音の伴奏は注目に値し、更に主題がマンドラに対照され終に第一マンドリン、マンドラが同時に対位旋律を繰返すことによって驚くべき効果を示している。革新的な豪放な作品として、この曲は他作家の作品に見ることのできない気概と力を持っている。

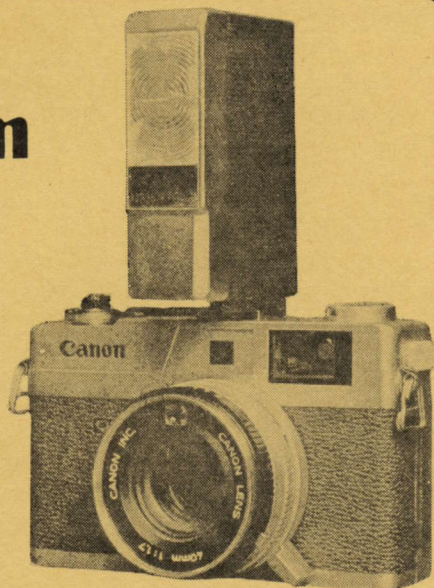
# 世界が注目する

# Canon

エベレスト頂上で活躍した  
唯一のカメラ——キヤノネット

現金正価 ¥28,500(皮ケース付)  
ブラックボディ ¥29,500( )  
キヤノライトD ¥4,800

Canon   
**キヤノネット**



キヤノンカメラ販売株式会社・静岡営業所  
静岡市藤匠町2-3-6(静米会館内) TEL 552241-4

# ◇ 部員紹介 ◇

常任指揮者 飯島国男 部長 秋山延義  
 正指揮者 石井康裕 副部長 長谷川達雄  
 副指揮者 田村均 新海美津子  
 Concert Master 貞弘丈佳

## 1st Mandolin

◎貞弘丈佳(静岡・工3)  
 阿部信彦(岡山・工4)  
 大野洋一(香川・工4)  
 小林恭子(山梨・教4)  
 内藤絹江(山梨・教3)  
 坂本正子(山梨・教2)  
 伊達貞治(広島・工2)  
 藤原光江(山梨・教2)  
 山口正雄(千葉・工2)  
 岩田直(三重・工1)  
 笠原俊男(神奈川・工1)  
 後藤正彰(静岡・工1)  
 谷沢貞美(山梨・教1)  
 布引英夫(島根・工1)  
 広瀬貴美子(山梨・教1)  
 水野博文(愛知・工1)

## 2nd Mandolin

◎大川村恭明(静岡・工4)  
 佐藤暁子(山梨・教4)  
 長谷川達雄(大阪・工3)  
 鈴木時治(静岡・工2)  
 田村均(東京・工2)  
 古屋和美(山梨・教2)  
 吉田保博(大阪・工2)  
 窪田清子(山梨・教1)  
 小林英美子(山梨・教1)  
 小林義利(長野・工1)  
 田島愛江(山梨・教1)  
 田村直樹(熊本・工1)  
 中副隆(神奈川・工1)  
 渡辺俊(静岡・工1)

## Mandola

◎増田剛徳(静岡・工3)  
 河野直文(山梨・工4)  
 小林実(岡山・工4)  
 小原都(福井・教4)  
 伊藤みち代(山梨・教3)  
 小幡修(山梨・工2)  
 須田由美子(山梨・教2)  
 広谷耕作(石川・工1)

## Mando Cello

◎松井謙二(愛媛・工3)  
 中村四郎(静岡・工4)  
 秋山延義(山梨・工3)

## Guitar

◎嶺木直人(岐阜・工3)  
 ○安藤恵一(長野・工3)  
 ○蔵田修治(山梨・工3)  
 今井良子(山梨・教4)  
 植松ゆき江(山梨・教4)  
 川端一男(東京・工4)  
 窪田静枝(山梨・教4)  
 佐藤学(静岡・工4)  
 原喜美子(山梨・教4)  
 村上たか子(山梨・教4)  
 山田真知子(山梨・教4)  
 内山恵一(長野・工3)  
 長田陽子(山梨・教3)  
 小松一博(兵庫・工3)  
 新海美津子(山梨・教3)  
 高尾寛(和歌山・工3)  
 高松俊一(大阪・工3)  
 花野芳夫(新潟・工3)  
 赤羽巧吉(長野・工2)  
 大倉芳明(長野・工2)  
 鈴木等(静岡・工2)  
 中山広美(山梨・教2)  
 池上清春(大阪・工1)  
 小野隆光(静岡・教1)  
 小金丸芳美(山梨・教1)  
 河野多鶴子(山梨・教1)  
 神山千鶴(山梨・教1)

## Contrabass

◎城口和男(大阪・工3)  
 西川公男(滋賀・工4)  
 山本隆志(静岡・工2)  
 井上芳範(兵庫・工1)

## Percussion Instruments

◎小松一博(兵庫・工3)  
 石井康裕(広島・工3)

赤羽巧吉(長野・工2)  
 池上清春(大阪・工1)  
 猪早逸郎(京都・工1)

## Flute

◎後藤正樹(広島・工2)  
 石井康裕(広島・工3)  
 猪早逸郎(京都・工1)  
 西沢昭(愛知・工1)

## Clarinet

◎佐藤学(静岡・工4)  
 猪早逸郎(京都・工1)

## Oboe

山口孝司(長野・工2)  
 賛助出演 山梨大学管弦楽団

以上 77名

◎ 各パート首席奏者  
 ○ 次席奏者



あゆみ

昭和36年11月 小林伸吾氏等精密工学科有志11名により発足。

昭和38年11月6日 第一回演奏会（於・学内）

- ・ドミノ ・小兵士の行進 ・フオスター歌曲集
- ・ボルガマーチ ・郷愁 その他

昭和39年11月8日 第二回定期演奏会（於・山梨県民会館）

- OUVERTURE IN D-DUR.....Konrad Wölki
- LA VALLEE MAUDITE ..... Meniche ti
- MILENA..... Maciocchi
- 山 狭.....川崎貞利
- その他

昭和40年11月6日 第三回定期演奏会（於・山梨県民会館）

- オラッチオとクリラッチオ兄弟..... D. Cimarosa
- ト調のシンフォニー.....G. Domenico
- レナータ..... Lavitorano
- 小交響曲 マンドリンの群れ.....C. A. Bracco
- その他

昭和41年5月28日 県民会館10年祭り賛助出演

- オラッチオとクリラッチオ兄弟..... D. Cimarosa
- 山 獄 詩.....M.S. Salvetti
- ミレーナ..... Maciocchi
- レナータ..... Lavitorano
- その他

昭和41年11月12日 第四回定期演奏会（於・山梨県民会館）

- バグダッドの大守.....F.A. Boieldieu
- 組曲 山の印象.....鈴木静一
- ハンガリア舞曲 第5番、第6番..... Joh. Brahms
- その他

昭和42年11月5日 諏訪特別演奏会（於・北沢会館）

昭和42年11月11日 第五回定期演奏会（於・山梨県民会館）

- OUVERTURE IN A-DUR.....Konrad Wölki
- ローマ・トリノ..... D. Giovanni
- 小交響曲 マンドリンの群れ.....C. A. Bvacco
- その他

昭和43年11月9日 第六回定期演奏会（於・山梨県民会館）

- Eine Kleine Nachtmusik..... W. A. Mozart
- Bizet Klanken.....arr by J. Linard
- Loreley Paraphrase.....S. Ranieri
- 序曲 水車小屋の乙女たち..... M. Maciocchi
- 地獄谷の一夜..... F. Jullian
- 序曲 レナータ..... H. Lavitrano
- その他

昭和44年6月22日 都留演奏会

- OUVERTURE IN A-DUR.....Konrad Wölki
- 漁村の一夜.....中野二郎
- RENATA.....H. Lavitrano
- その他

昭和44年11月8日 第7回定期演奏会

- 過去への尊敬.....L.M. Vogt
- 悪魔の囁き.....M. Maciocchi
- OUVERTURE IN H-MOLL.....K. Wölki
- 組曲 人魚.....鈴木静一
- その他



純喫茶

パロマ

サービス  
タイム  
1時まで

AM PM  
9:00 - 10:30

駅前ブラザーミシン隣・大吉野ビル地階